

ミニレター

あぜみち通信

* * * * *

令和5年1月1日

265号

編集・発行：（一社）愛知県農業会議

新年おめでとうございます

皆様には、輝かしい新年をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。

さて、農業委員、農地利用最適化推進委員、農業委員会事務局の皆様方におかれましては、日頃から農地制度の適正な執行をはじめ、担い手への農地の集積・集約化、遊休農地の発生防止・解消、新規参入の促進等、「農地利用の最適化」の実現に向けた様々な取組を全力で進めていただいております。日頃のご努力に心から敬意を表しますとともに、深く感謝申し上げます。

さて、農業委員会組織を巡っては今、大きな転換期に差し掛かっています。農地利用最適化の推進という流れ、規制改革の流れ、デジタル化の流れという大きな流れの中で、具体的な変革の動きが進んでいるというのが現在の状況であると思われます。

農地利用最適化の流れでは、人・農地プラン＝地域計画・目標地図の法定化をはじめ、各種の法制度改正の動きが進められております。また、規制改革の流れからは、最適化活動の「見える化」を進める動きが国のガイドラインという形で具体化され、農地利用最適化交付金も大きく制度改正されました。さらに、デジタル化の流れでは、農業委員会サポートシステムの活用や農業委員会へのタブレット端末の導入等の動きが進んでいます。

こうした中、地域の農業委員会ネットワーク機構であります愛知県農業会議としましては、今後とも、農地制度を巡る新たな動きや関連する情報の提供、農業委員、農地利用最適化推進委員の活動に対するきめ細かな支援などに全力で取り組んでまいります所存でございます。皆様方の格別のご支援、ご協力をお願い申し上げます。

最後に、皆様方にとりまして新しい年も、実り豊かな一年となりますよう心よりお祈り申し上げます。新年のご挨拶といたします。

一般社団法人 愛知県農業会議 会長 川上 万一郎

あけましておめでとうございます

皆様にとりまして、本年が良き年でありますよう心よりお祈り申し上げます。

本年も、愛知県農業会議の事業へのご理解、ご協力を切にお願い申し上げます。

愛知県農業会議 職員一同

◎ 全国農業委員会会長代表者集会が開催されました

12月1日に東京都の「銀座ブロッサム中央会館」において、一般社団法人全国農業会議所主催の令和4年度全国農業委員会会長代表者集会が開催されました。本県からは農業会議会長と各地域協議会の会長ら代表者が参加されました。

要請決議、申し合わせ決議に続き、3題の活動事例報告が行われ、この中で、名古屋市農業委員会の岩田公雄会長が「名古屋市における人・農地プラン(地域計画)の策定」について発表されました。この後、女性委員の登用率の向上に向けた決意表明が行われました。



岩田会長



要請活動

なお、要請決議については、代表者集会に先立ち、衆議院第2議員会館において、愛知県選出の自由民主党国会議員の皆様、川上農業会議会長及び平野飛島村農業委員会会長をはじめとする代表から要請活動を行いました。

◎ 愛知農業賞表彰式が開催されました

12月1日に名古屋市中区の「J A あいちビル」において、公益財団法人愛知県農業振興基金による、令和4年度愛知農業賞(あいちアグリアワード)表彰式が開催されました。

主催者挨拶、審査講評に続き、鈴木理事長から次の3者に表彰状が授与されました。

表彰式終了後、受賞者による記念講演が行われました。

① 担い手育成部門 佐々木 正氏(江南市)

45歳の時に教職を辞めて有機農業を開始。「オーガニックファーマーズ朝市村」に加入。研修生を積極的に受け入れ、これまで28人を有機農業の担い手に育てる。

② 技術改善部門 加藤 鐵也氏(豊田市)

従来のカキからナシ主体の経営に切り替え作業効率と収益性を高め、当地域を県内有数のナシ産地に発展。地域に合った品種選定や栽培技術の確立に大きな役割を果たす。

③ 農業・農村振興部門 後藤 貞夫氏(清須市)

家族労働で酪農や野菜栽培、稲作を複合経営するモデル農家として先駆的な取組を実践。エダマメのマルチ被覆栽培や二期作体系の技術を確立し、「エダマメ+ハウレンソウ」の経営モデルを確立。エダマメは当地域の新たな主力品目となり、企業参入等により栽培面積も拡大。農副連携にも取り組み、就労支援施設を運営する。

◎ 常設審議委員会(12月)の審議状況について

12月6日に「愛知県三の丸庁舎」において、農地法に係る農業委員会からの諮問に対する答申を審議する常設審議委員会を開催しました。

12月の諮問は、13の農業委員会から農地法第4条に基づく転用事案1件、5,252㎡、農地法第5条に基づく転用事案15件、89,672㎡についてそれぞれ審議したところ、いずれも原案どおり許可して差し支えない旨承認されました。

(参考) 諮問農業委員会

一宮市(1件)、瀬戸市(1件)、大口町(1件)、愛西市(1件)、弥富市(1件)、あま市(1件)、半田市(1件)、常滑市(1件)、東海市(1件)、大府市(1件)、安城市(1件)、豊田市(3件)、新城市(2件)

◎ 東海・近畿ブロック女性の農業委員会研修会が開催されました

12月7日に名古屋市の「名古屋銀行協会」等において令和4年度東海・近畿ブロック女性の農業委員会研修会(主催:東海・近畿各府県農業会議及び同女性農業委員組織)がオンラインで開催され、本県からは14委員会・45名の方々が参加されました。

全国農業委員会女性協議会会長による農業委員への女性登用に関する講演、兵庫県豊岡市農業委員会による地域に根差す伝統食普及の活動事例報告、女性委員の登用促進等をテーマとする各府県の取組の情報交換等が行われました。

◎ 女性農業者リーダー育成研修会が開催されました

10月、11月に続き、12月6日、13日及び20日に愛知県農業水産局農政部農業経営課主催の「女性農業者リーダー育成研修会」がオンライン開催され、女性職員が参加しました。それぞれ「女性従業員の超・活用法」、「失敗しないためのインボイス制度への対応」、「女性の思いが地域を変える」をテーマに中小企業診断士や税理士、JA女性職員による経営支援に関する講演が行われました。

◎ 農業委員会レディスあいち役員会が開催されました

12月8日に「愛知県三の丸庁舎」において、農業委員会レディスあいちの第3回役員会が開催されました。

杉浦代表の挨拶に続き、令和3年度の事業実績等について報告があった後、今年度の臨時総会及び研修会を令和5年2月16日に開催すること、また、来年度は「東海・近畿ブロック女性の農業委員会研修会」が本県での開催となることから、現役員体制のまま、同研修会(11月末予定)及びレディスあいち通常総会(12月中旬予定)を開催することが協議・決定されました。

◎ 愛知県農地集積・集約化推進会議が開催されました

12月8日に「愛知県三の丸庁舎」において、令和4年度愛知県農地集積・集約化推進会議(事務局/県農業振興課)が開催されました。

会議には、県農業水産局関係課のほか、JA愛知中央会、JA愛知経済連、県土地改良事業団体連合会、県農業振興基金、農業会議及び東海農政局(オブザーバー)が出席し、各地域の人・農地プラン(地域計画)、耕作放棄地対策の取組状況、農業経営基盤の強化の促進に関する基本方針の改正等について報告があり、意見交換が行われました。

◎ 農林畜産物品評会表彰式等が開催されました

12月16日に、名古屋市の「熱田神宮会館」において、愛知県農業協同組合中央会及び熱田神宮豊年講の共催により、第70回農林畜産物品評会表彰式並びに第41回熱田神宮農業功労者顕彰式が開催されました。愛知県農業協同組合中央会会長の主催者挨拶、熱田神宮宮司の挨拶の後、第41回熱田神宮農業功労者顕彰状が2名の方々に贈呈されました。顕彰状贈呈後、第70回度農林畜産物品評会の審査報告があり、特賞（農林水産大臣・熱田神宮宮司賞）2名、優秀賞（愛知県知事賞、名古屋市長賞、愛知県農業会議会長賞等）49名の方々に賞状が授与されたのを始め、合計で391名の皆さんが受賞しました。

なお、品評会には、農産・蚕糸455点、園芸1,349点、畜産125点、林産27点の合計1,956点の出品がありました。

◎ 国の令和5年度農業委員会関連予算案（12月23日閣議決定）の概要（）内は前年度予算額

- 地域計画策定推進緊急対策事業 7億9,900万円（－）
- 農地利用効率化等支援交付金 15億2,100万円（20億5千万円）
- 農業経営・就農支援体制整備推進事業 5億1,300万円（－）※組替え
- 農地中間管理機構事業 40億3,300万円（35億1,700万円）
- 遊休農地解消緊急対策事業 2億5,800万円（5億1,600万円）
- 機構集積協力金交付事業 6億円（10億8,500万円）【令和4年度補正予算 40億円】
- 農業委員会交付金 47億1,800万円（47億1,800万円）
- 機構集積支援事業 27億5,700万円（29億8,700万円）
- 農地利用最適化交付金 51億円（51億円）
- 都道府県農業委員会ネットワーク機構負担金 5億2,300万円（5億2,300万円）
- 農地調整費交付金 4,700万円（5,700万円）
- 新規就農者育成総合対策 192億2,500万円（207億円）【令和4年度補正予算 26億円】
- 経営継承・発展等支援事業 1億円（1億円）
- 女性が変わる未来の農業推進事業 8,500万円（8,500万円）

今後の主な行事予定

- 1月11日 常設審議委員会（県三の丸庁舎）
- 1月12日 愛知県農業委員会事務研究会総会・研修会（桜華会館）
- 1月20日 愛西市農業委員会全体会（愛西市役所）
- 1月24日 愛知県稲作経営者会議青年部研究会（アイリス愛知）
- 1月26日 東海4県情報事業担当者会議（名古屋国際センター他）
碧南5市農業委員会会長会議（知立市学校給食センター）
- 1月31日 都道府県農業会議農地主任者会議（オンライン）
レディスあいち第4回役員会（県三の丸庁舎）
- 2月6日 常設審議委員会及び地域協議会会長会議（県三の丸庁舎）
- 2月7日 都道府県農業会議専務理事・事務局長会議（東京・参議院議員会館）
- 2月7～8日 愛知県稲作経営者会議青年部研究会（西尾市）
- 2月14日 都道府県農業会議会長会議（東京・蚕糸会館）
- 2月16日 レディスあいち臨時総会・研修会（名古屋銀行協会）
- 3月7日 理事会及び常設審議委員会（県三の丸庁舎）
- 3月27日 臨時総会及び理事会（県三の丸庁舎）
- 3月30日 J Aグループ臨時総会（J Aあいちビル）

農業者年金で安心・豊かな老後を

～農業者の老後は国民年金だけでは不安です～

◎農業に従事する方の老後の安心に役立ちます。国民年金 + 農業者年金

◎こんな方が加入できます。

①国民年金第1号被保険者 ②年間60日以上農業に従事 ③20歳以上60歳未満の方

※さらに、年間60日以上農業に従事する60歳以上65歳未満の国民年金の任意加入者も加入できます。

◎積立方式だから自分がかけた金額は年金として生涯もらえます。

(仮に80歳前に亡くなった場合でも、死亡一時金が遺族に支給されます。)

◎保険料は、いつでも変更できます。月々2万円(35歳未満で政策支援加入の対象とならない方は1万円)から6万7千円まで

◎支払った保険料は全額社会保険料控除となり、所得税や住民税等の節税になります。

◎政策支援(保険料の国庫補助)が受けられます。

例：認定農業者等で青色申告者で35歳未満の人は10,000円(5割)補助



問い合わせ先 お住まいの市町村農業委員会・JAの農業者年金担当

一般社団法人 愛知県農業会議 TEL. 052-962-2841

愛知県農業協同組合中央会 TEL. 052-951-6944

農政の動きを知り経営に役立てる

全国農業新聞

全国農業新聞は、農業委員会組織が編集・発行している情報紙です

★まとめて読める！週刊紙

○農政・農業・農村の動き、問題をタイムリーに

○地域の情報をカラーで生き活きと

○農業・農村現場や農業者の思いを伝承

○経営・流通に役立つ最新情報が満載

○老若男女すべての方の元気を応援

○文字が大きく読みやすい

発行日：毎月4回 毎週金曜日発行

購読料：月額700円、年8,400円(消費税込)

情報事業の推進には農業委員及び農地利用最適化推進委員の皆様のご協力が必要不可欠です。見本紙等をご希望の場合、お気軽にお問い合わせください。

全国農業図書

“目に見える”活動のために・・・農地パトロール4点セット

★農業委員会キャップ

布製のほか夏場のパトロール向けのメッシュタイプもご用意。全員で着用することでより注目が集まり、遊休農地解消や無断転用防止などの注意を喚起できます。

- 布地タイプ（写真左）
コード番号：17-NC 定価：1,270 円（税込）
- メッシュタイプ（写真右）
コード番号：16-102 定価：1,060 円（税込）



★農業委員会腕章（布製） マジックテープ・安全ピンで固定

全員が着用することで注目が集まり、遊休農地解消や無断転用防止などの注意を喚起できます。日常の活動にも活用できます。

コード番号：16-101 定価：850 円（税込）

★農地パトロール・マグネット板（自動車用） サイズ：天地 15cm×幅 54cm

自動車のドアに左右セットで貼り付けて、活動をより目に見えるようにします。

パトロールを行う全車に貼り、日頃から活用すると、不法投棄や無断転用防止の抑止効果が高まります。

コード番号：16-100 定価：1 枚 1,910 円（税込）

★農地パトロールポロシャツ サイズ：SS. S. M. L. LL. 3L. 4L

抜群の吸汗性と速乾性を兼ね備えたドライポロシャツ、青と白の2色。農業委員・推進委員の活動の「見える化」に役立つアイテムです。

- Aタイプ（写真左：胸元にワンポイント・背面にロゴマーク）
白のみ／コード番号：R03-AZ 定価：2,500 円（税込）
- Bタイプ（写真右：胸元にワンポイント・背面は無地）
白／コード番号：R03-BZ 定価：2,500 円（税込）
青／コード番号：R04-A〇 定価：2,500 円（税込）



●お問い合わせ先：一般社団法人愛知県農業会議

TEL:052-962-2841 FAX:052-953-0399

◆発行所：一般社団法人全国農業会議所 〒102-0084 東京都千代田区二番町 9-8◆